

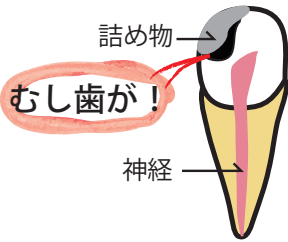
せっかく入れた詰め物、長持ちさせるコツってあるの?!



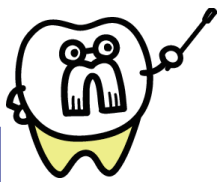
大変だったむし歯の治療がようやく終わった！
けど…この詰め物、一体いつまでもつの？

実は一度入れた詰め物を永久に使い続けるということは難しく、ほとんどの方が何らかの原因で再治療を行うこととなりますが、**長持ちさせるコツがあります！**

再治療の一番の原因は、詰め物の周りが『**むし歯**』になること！



むし歯は、その歯の一番弱いところに発生します。そこを治療しただけでは、“むし歯ができるという**環境**”はそのままで、穴に継ぎをあてた継ぎ目は前より弱くなります。



ズバリ!!

口の中をむし歯になりにくくする
口の中の環境の改善!!

詰め物や継ぎ目の耐久性をあげるには？

つまり…

むし歯予防!!

なのです

むし歯になるリスクとは?!

フッ素入り歯みがき剤やジェルを使っていない

酸が一定の濃度になると歯の表面の石灰が溶け始めます。フッ素を継続して使うことで歯の質が強くなり、耐酸性が増します。

食べ物の内容と食べ方

甘いものや炭水化物、酸度の高い食品をダラダラ食べる習慣は、歯をもろくします。

だ液が少ない

だ液が少ないとむし歯菌が作った酸を洗い流せない上、だ液中の再石灰力も弱くなります。

むし歯菌が多い

酸産生能の強いミュータンス菌やラクトパチラス菌が多い方はむし歯のリスクは高くなります。



歯みがきが雑だからむし歯になったと思われがちですが、実はむし歯の原因はこれらの影響の方が大きいのです。歯ブラシで予防できるむし歯はほんの少しなのです。

効果的にむし歯予防するには？



**サリバテスト
(だ液検査)を
おすすめします**

**生活から見直す
むし歯リスク管理が出来ます**

サリバテストとは 口の中の環境は、一人ひとり違います。あなたのどこに弱点（リスク）があり、どう改善すれば、むし歯がどの程度減るのかを検査する方法です。

治療の終わりは予防の始まり あなたにピッタリの虫歯予防をすることで、詰め物を長持ちさせることができます。穴を塞いだだけでは片手落ちで、むし歯を治したから大丈夫ではなく、再びむし歯にならないようにしておくことが大切なのです。